

# 奥日光の春は いつも遅れてやってきます。

3月といえば、街中では桜が咲き始め、まさに春。しかし、奥日光は3月下旬までスキー場が営業しているとおり気温が低い地域であり、花が咲き始めるのは4月下旬です。毎年「せっかく来たのに花が何も咲いていない…」とガッカリされるお客様が多いので、月ごとにざっくりと、いつどんな花が見られるのかをまとめました。お出かけの参考にしてみてください。

## 3月 奥日光は雪の中…

奥日光の3月は未だ冬の装い。気温が上がってくるので、少しでも温かいときに冬の風景を楽しみたい方にはオススメ。車の方はまだスタッドレスタイヤが必要です！注意

## 4月

- ・スミレ類（下旬）
- ・ヒメイチゲ（下旬）
- ・アカヤシオ（下旬）

上旬は雪が降りますが、下旬になるとアカヤシオがいろは坂で咲き始めます。奥日光では、やっと足元に小さなスミレが！遅い春の訪れです。樹木はまだ冬モード。

## 5月

- ・サクラ類（中下旬）
- ・ツツジ類
- ・クリンソウ（下旬）

アカヤシオに次いで中禅寺湖でシロヤシオ、アズマシャクナゲが咲き乱れ、本格的な春に突入。なんと、奥日光では5月に桜が見られます！新緑が中下旬からスタート。

## 6月

- ・クリンソウ（中旬まで）
- ・ズミ（上旬）
- ・ワタスゲ（中旬）
- ・レンゲツツジ（中旬）

6月上旬でも新緑が美しい奥日光。戦場ヶ原のズミとワタスゲを筆頭に、花の本格シーズンに入ります。色とりどり、たくさんの種類の植物が見たい方は6月中旬以降が◎

### 定期購読のご案内

発行日にご自宅まで本誌をお届けします。  
「**楓通信**」購読料 **1,500円**  
2026年3月号 (No.164) ~ 2027年12月号 (No.171)

※本誌は無料。送料、手数料として頂きます。  
【発行】自然公園財団 日光支部

【申し込み方法】  
ビジターセンターで申込書にご記入いただくか、  
下記まで氏名・住所・電話番号をご連絡ください。

✉ yumotovc.guide@npfj.or.jp

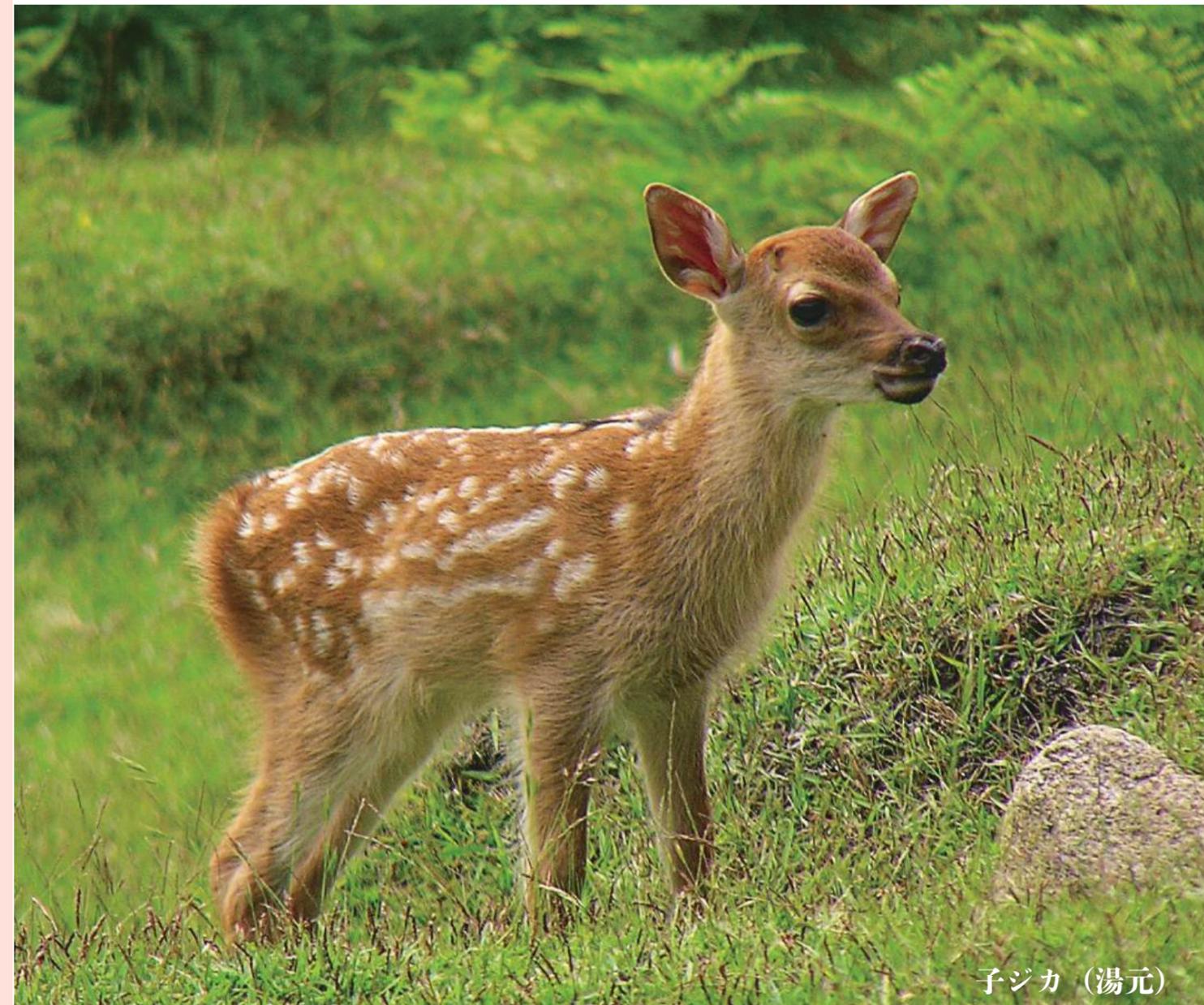
☎ 0288-62-2461 (FAX: 0288-62-2378)

2026年3月初旬発行 [次号 2026年6月初旬発行予定]

奥日光の自然情報誌

# 楓通信

2026年 No.164  
3-5月号



子ジカ（湯元）

### 今号の特集

- < 特集1 > 似てるけどちょっと違う！そっくり生き物特集
- < 特集2 > スクープ！湯元温泉に「ベニヒワ」の群れ現る！

似てるけどちょっと違う！

# そっくり生き物特集

## 「ツバメ」と「イワツバメ」

のどの赤色が  
オシャレで  
都会の感じ



ツバメ

岩場に溶けこむ  
シンプルな  
見た目



イワツバメ

皆様のご自宅の近くでも春によく見かけるであろうツバメ。奥日光ではその仲間であるイワツバメが見られます。分かりやすい違いは、のどの色。ツバメはのどが赤く、イワツバメは白のが特徴です。元々は岩場に巣をつくることからその名がついたイワツバメですが、人工物が増えた現代では、コンクリートの建物にもツバメと同様に営巣するようになりました。うまく順応しているともいえますが、人間の影響だと思つと心が痛みます…。

## 「スズメ」と「ニュウナイスズメ」

ほっぺに  
模様があるのが  
スタンダード



スズメ

ほっぺの斑(にふ)  
が無いことから  
ニュウナイ



ニュウナイスズメ

とてもよく似ていますが、茶色くて頬に黒い模様があるのがスズメ、明るい茶色で頬が真っ白なのがニュウナイスズメ。「スズメっぽいけど、それにしても明るい色だな」と感じたら、それはニュウナイスズメかもしれません！湯元内の駐車場や旅館近くの木々にとまっていて観察しやすいので、春の湯元温泉でスズメらしき鳥を見かけたら気にしてみてください。筆者はビジターセンターで働いて初めて、スズメに種類があることを知りました(笑)。

## よく見る生き物と何かが違う…？

さむ〜い奥日光では、春の訪れを感じられるのは早くても4月下旬。お客様の中には「せっかく来たのに花が咲いていない…」と残念がる方も多いです。

そんな方はぜひ、生き物に注目してみてください。

皆さんのお住まいの地域で見る生き物たちと、ちょっと違うかもしれませんよ！

## 「タヌキ」と「アナグマ」

ワガママボディ  
なのがタヌキ  
…って失礼だな



タヌキ

タヌキより  
キリッとした  
顔でしょ？



アナグマ

「顔がシュツとしたタヌキを見たのですが…」という、タヌキとアナグマを混同したお問合せをよく頂きます。それは多分、アナグマ(笑)。タヌキは丸顔で身体もモフっと丸っこい。アナグマはその名の通り「穴ほり」に特化した面長の顔つきで鼻先もツンと尖り気味です。体もシュツとスタイリッシュ。前足の大きなツメで迷路のような巣穴を掘ります。どちらも目撃情報多めなので、ぜひ探してみてください。

## 「テン」と「イタチ」

薄暗い時間に  
食べ物を探して  
行動しているよ



テン

アイマスクを  
つけてみたい？



イタチ

よくお客様から「イタチがいました！」とご報告いただくのですが、奥日光にいるのは画像左のテン。イタチの体毛は茶色なのに対し、テンはクリーム色のような茶色です(生息地により個体差あり)。どちらもよく似ていますが、テンは自然豊かな場所、イタチは主に農地など人の手が入る場所に多いイメージです。早朝や夜、奥日光の道路わきを歩くハンディモップのような細長いフワフワの生き物がいたら、それはテンかもしれません。

# スワープ 湯元温泉に ベニヒワの群れ現る!

1月のある日、ビジターセンター前の駐車場には平日にもかかわらずたくさんの車が!何かあったのかと思ったら、冬しか見られない鳥「ベニヒワ」を写真に収めようとする人たちの車だったのです!冬の話ではありますが、たくさん問合せをいただいたので今回特集にしました。

## ベニヒワとは

冬になるとやってくる、頭と胸が赤い、スズメほどの大きさの鳥。例年、北海道での目撃情報が多く、ベニヒワを見るために真冬の北海道に渡るバードウォッチャーがいるほど。もふもふとした見た目と、冬に映える赤色が可愛い、鳥界隈では人気の冬鳥。

ハンノキやカラマツの実を好んで食べ、今回もハンノキによく留まっていました。



ベニヒワ (2026.1.4 スタッフ撮影)



ハンノキの実を食べるベニヒワ (湯ノ湖園地)

## ベニヒワの出現を待ち構える人の群れ@レストハウス前



(2026.2.1 撮影)

あまりのバードウォッチャーの多さに、通りかかったお客様からは「あれは何かの取材?それとも事件ですか?」と度々お問い合わせが…(笑)。

寒波で気温が-15°C近くになっても、吹雪の日でも、早朝から日が暮れる直前まで、その場でじっとベニヒワの出現を待ち続ける人々。さぞ寒いことでしょう…。そんな中でも30人ほどの人が集まった日もあったほど!ベニヒワのレア度がよくわかります。

「奥日光 ベニヒワ」でネット検索すると、野鳥ブロガーの方々が湯元温泉で撮った様々な表情のベニヒワが出てきます。どれも愛らしい写真なので、ぜひ調べてみてください。

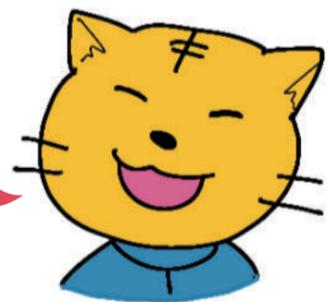
## 鳥好きスタッフにきいてみた! バードウォッチャーのきもち



これまでも奥日光でベニヒワの目撃は何度かありましたが、いつも1羽か2羽いる程度でした。毎年見られるわけではないことに加え今回は群れだったので、その点でもとても貴重でしたね。

ベニヒワは北海道に多いとはいえ、探しに行ったその日に必ず姿を拝めるわけではありません。そんな鳥が奥日光で、しかもバス停からすぐの場所で見られるとなれば、人が集まるのも納得です。

お目当ての鳥に出会えるかどうかはタイミングが全て。気分転換にランチでも…と目を離れた直後に姿を現わしたり、諦めて帰ったら数分後に目撃情報があった、なんてことがよくあります。なので、たとえ天気が悪くても「今この場を離れたら後悔するかも」という気持ちが勝って、何時間でも粘ってまう。引き時がわからなくなるんです(笑)。



# ビジターセンターのイベント

## ゼロ回から始めるバードウォッチング

5月3日・4日  
9:30-11:30

バードウォッチングが初めての方にこそ、ご参加いただきたいイベント！双眼鏡の使い方から鳥の探し方、見分け方まで、野鳥大好きスタッフがフィールドで優しく丁寧にレクチャーします。葉っぱがほとんどない今の時季こそ、野鳥観察がしやすいベストシーズンなんです！**手ぶらで参加OK**なので、飛び入り参加も大歓迎♪  
【ルート】湯ノ湖、湯元温泉周辺

参加費 1,000 円  
(双眼鏡レンタル代込み)



## 探検！「日光かくれ三名瀑」へ！

5月3日（日）  
9:30-15:00

いろは坂下にある、日光の滝探検に GO! 行動時間が長いので**健脚向け&水の中をジャブジャブ歩ける方**（膝までの長靴や沢靴をお持ちの方）限定ですが、冒険感満載でワクワクすること間違いなし！ツツジ類もキレイなはず…！春を感じつつ、探検だ！！  
【ルート】若子神社 P→日光かくれ三滝（寂光滝、相生滝、羽黒滝）→若子神社 P

参加費 4,000 円



## ビジターセンタースタッフと歩く 湯元温泉 早朝散策

5月3日・5日  
6:30-7:30

まだ肌寒い奥日光の朝ですが、早起きして私たちと一緒に湯元温泉を散策しませんか？担当スタッフが自然や歴史など、様々な視点で解説を挟みながら見どころをご案内します！素通りしてしまうような場所でも、実は発見があるかも…？ 当日の**飛び入り参加大歓迎です！**  
【ルート】湯ノ湖、湯元温泉周辺

参加費 500 円



## ヒミツの！シャクナゲ隠れスポットツアー

5月17日（日）  
9:00-12:00

普段、湯元ビジターセンターのスタッフが巡視している非公開のルートの一部に特別にご案内！実は、シャクナゲの群落を見下ろせるビュースポットがあるのです。ハードな道ではなく、湯ノ湖一周+@のイメージで気軽にお楽しみいただけます。  
【ルート】日光湯元 VC→湯ノ湖→**◎**スポット→湯ノ湖→日光湯元 VC

参加費 3,000 円



## お申込み先（自然公園財団日光支部）

✉ yumotovc.guide@npfj.or.jp

☎ 0288-62-2461 (FAX: 0288-62-2378)

お申込みの際、下記をお知らせください。

- ①氏名
- ②令和5年～7年実施イベントの参加有無
- ③性別
- ④年齢
- ⑤住所（郵便番号含む）
- ⑥電話番号
- ⑦当日の交通手段